

取扱説明書・製品保証書



REVO H7 Type2 LEDヘッドライトキット
対応車種：H7密閉フタ型灯具車汎用

ご購入時は保証規定をご確認・ご同意の上ご購入ください。
本書が無き場合は保証が受けられません。必ず保管してください。

必ずお読みください。

この度は、LED RIBBONをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよく読みご理解の上、お取り扱いください。
尚、本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管し、ご活用ください。

取り付けはプロショップにて

本製品はヘッドライトシステムです。公道を走行する上での保安部品となるため、ヘッドライトの整備、取付作業には専門的な知識が必要となります。
本製品の取付作業については整備資格のある専門のバイクショップ様、または販売店様へのご依頼をお願いいたします。

※取付販売店様へ：本取扱説明書・保証書は、必ずお客様へお渡しください。



保証書

お客様の正常な使用状態で、万一お買い上げ1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合、製品の無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。
お買い上げ年月日未記入、販売店の押印のなき場合及びインターネットオークションやフリマ、中古販売品をご購入された場合は、保証期間内であっても有償とさせていただきます。

保証規定

- 本製品の保証期間は購入日から1年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。
- 本保証は日本国内のみ有効です。
- 下記の場合の故障につきましては保証期間内であっても保証の対象外となります。
 - ・不適当な取り扱いや配線の接続、不当な修理や改造による故障および損傷
 - ・火災、その他の天災地変、異常電圧、指定外の電源等、過失または事故による故障および損傷
 - ・保証書の提示のなき場合、本保証書の未記入あるいは字句を書き換えられた場合
 - ・販売店の押印のなき場合
- 本保証は製品の修理、交換にのみ適用となります。無償修理に伴い発生する付帯費用（立会い等に伴う交通費、取付・取り外し等の工賃、その他諸経費）および不点灯によって発生した直接、間接の損害等の全てについては、保証の対象外となります。

REVOシリーズ H7 Type2 LEDヘッドライトキット
製品番号：00081339

保証期間： お買い上げ 年 月 日 より1年間
販売店： 住所
電話番号

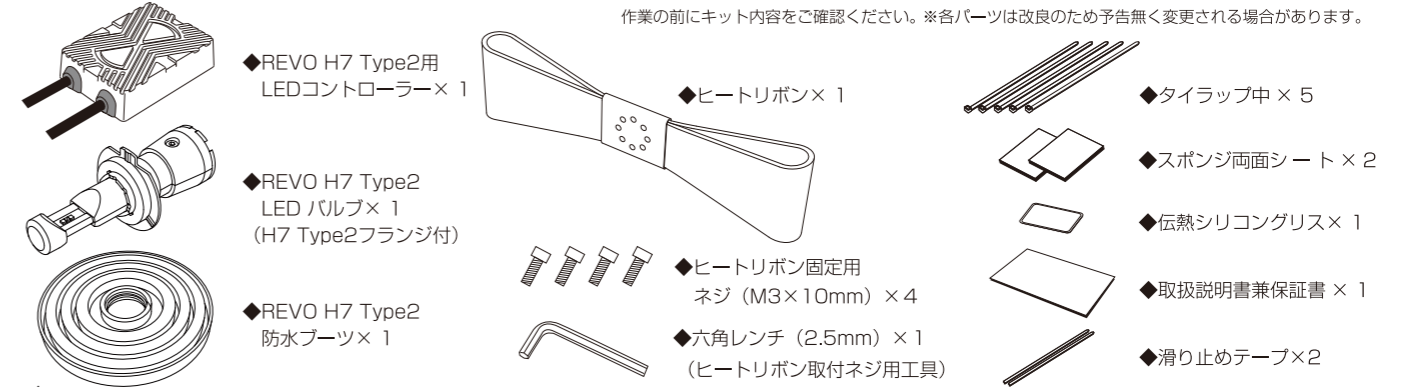
店舗捺印欄

※捺印（記入）無き場合は無効となります

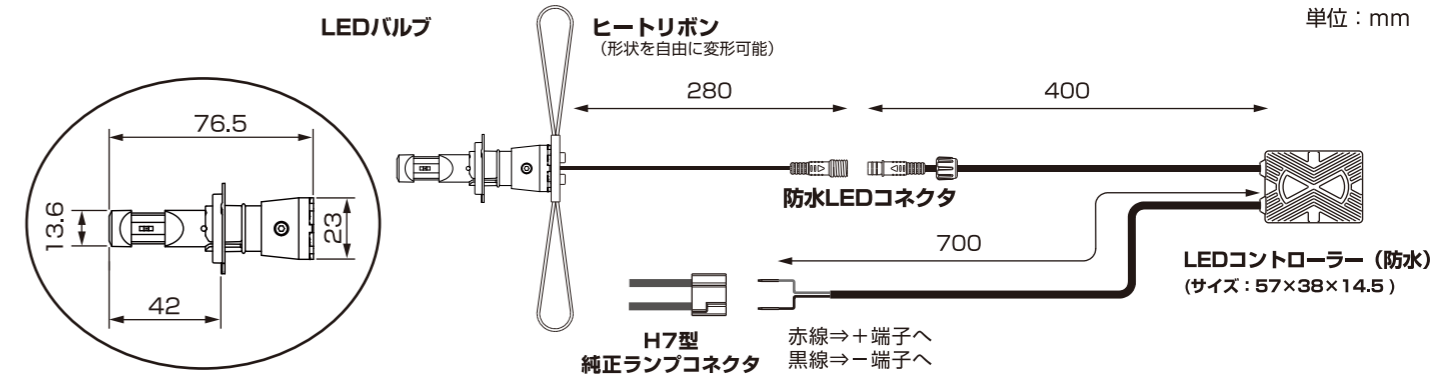
問合せ先・送付先：株式会社 サイン・ハウス
〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布2-9-14
TEL：03-5483-1711 URL：sygnhouse.jp 20.04

キット内容

作業の前にキット内容をご確認ください。※各パーツは改良のため予告無く変更される場合があります。



配線図・各部の寸法



LED RIBBON適合情報
sygnhouse.jp

H7 Type1
上図のようにランプガラスがハロゲンバルブに装着されている車両の場合は、
H7 Type2

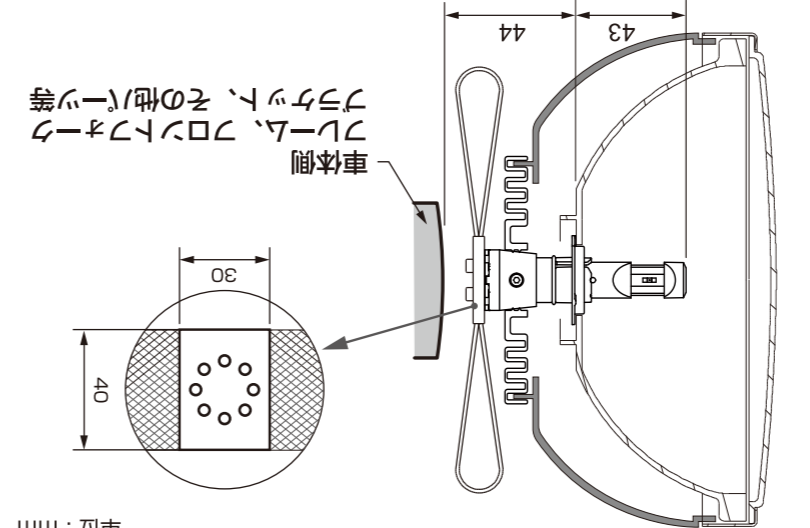
本製品は、H7 Type2です。
H7バルブ搭載車でも、下図ランプガラスがハロゲンバルブなどの車両専用となります。
H7バルブに装着されたバルブタイプと車両のバルブが合っているかご確認ください。

取付前の準備

◆REVO H7 Type2 取付部クランプガラス

取付注意点

- ◆指定以外の配線類の変更は行わないでください。
- ◆取扱説明書およびユーザーマニュアルに従って作業を行ってください。
- ◆メッキスワッチをオメガに、パツターのメッキ端子を外してから作業を行ってください。
- ◆作業は、平坦な場所で充分なスペースを確保して行ってください。
- ◆濡れた手やオイルの付いた手で作業は行わないでください。
- ◆配線の接続は確実に行ってください。
- ◆作業終了後、配線の最終確認を行ってから動作確認を行ってください。
- ◆盗難防止装置などを装着している場合は、電装系の取り扱いにご注意ください。



安全上のご注意

- ◆本製品に損傷を発生した場合、直ちに作業、使用を中止してください。
- ◆感電や故障の原因になります。
- ◆本製品を分解及び改造して使用しないでください。発火、発煙の原因となります。
- ◆紙や布で覆ったり、燃えやすい物の近くで点灯しないでください。火災や灯具過熱の原因となります。
- ◆ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ソウナーなど引火する可能性のある物の近くで点灯しないでください。爆発や火災の原因となります。
- ◆点灯時はバルブを直視しないでください。視力障害の原因となります。
- ◆本製品は精密機械です。落下させたり配線に無理な力をかけないでください。
- ◆本製品の取り付けには高度な専門知識を必要とします。
- ◆専門のバイクショップ様、または販売店様に取り付けを依頼してください。

警告

- ◆この表示を無視して、誤った取り扱いをすると生命に危険、または重大な障害につながる恐れがあります。

使用上のご注意

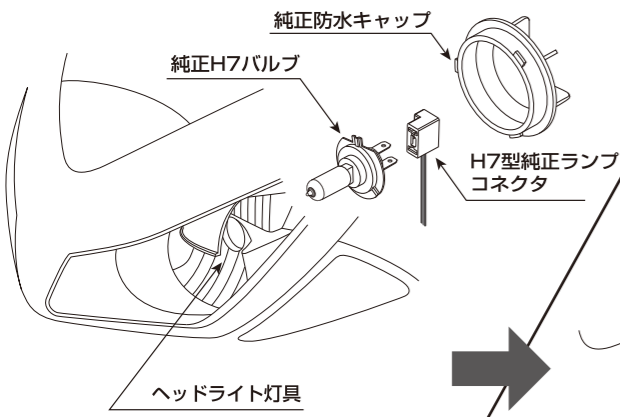
- ◆走行前に必ず光軸調整を行ってください。
- ◆誤った使用及び取り付け、改造しての使用、他社製品との併用などによる不具合は一切の責任を負いません。
- ◆一部の車両では、保安基準に適合できない場合があります。
- ◆点灯時および消灯直後に洗車などでバルブに直接水をかけないでください。温度差により、故障および破損の原因となります。

注意

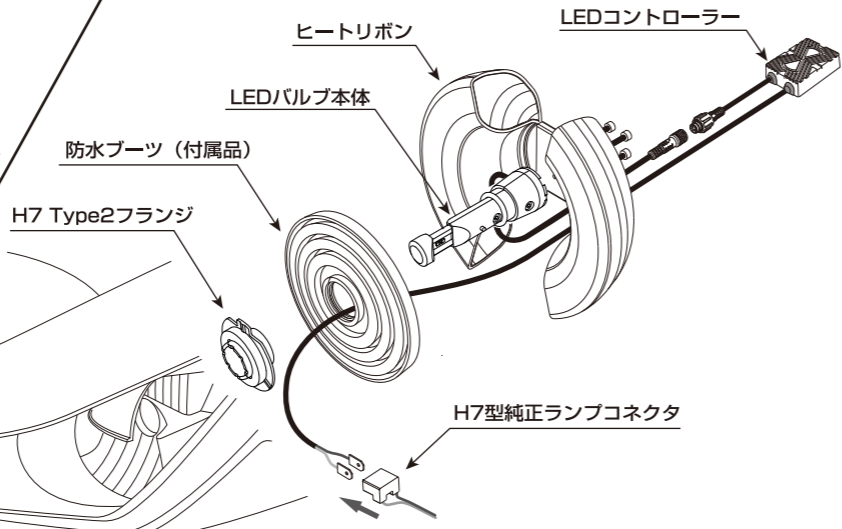
- ◆点灯時および消灯直後のバルブが極端に高温になっています。火傷の原因になります。
- ◆バルブの基板部分には触れないでください。破損や光度低下の原因となります。

LED RIBBON REVO H7 Type2 取付方法

< 純正バルブ組立図 >



< REVO H7 Type2 組立図 >



※イラストは組立イメージ図です。
配線の長さや形状、寸法等は実物とは異なります。

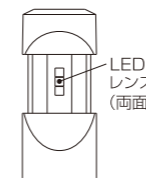


取付注意点

- ・本製品の配線は、無理な力で引っ張らないでください
- ・組付時、左右にハンドルロックした状態で以下を確認してください
→配線の引っ掛かりや引っ張られ（異常なテンション等）がないか
→F.フォーク部がLEDバルブやヒートリボンを押し当てていないか
- ・点灯中にバルブの組付けは、絶対に行わないでください
- ・LEDのレンズ部は、作業中に触るなどで汚さないでください
汚れたまま使用すると、レンズ部が焼損する恐れがあります。
汚れた場合は、綺麗な布で脱脂してください。

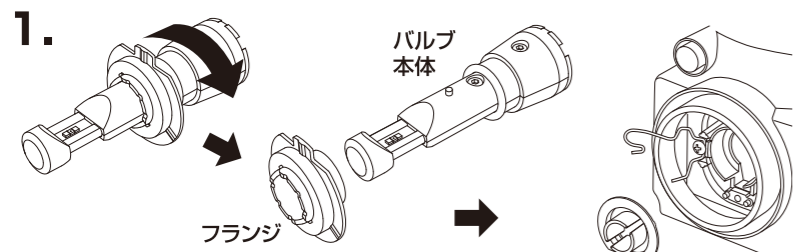


LEDバルブ部の汚れ注意

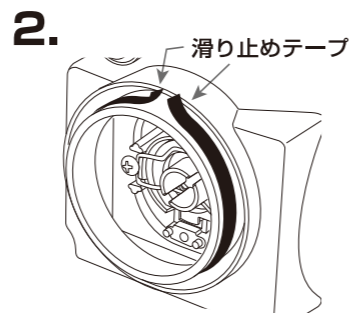


発光部のLEDレンズ部に触らないでください。
オイルやゴミ等が付着したまま点灯するとレンズ部が焼損する場合があります。

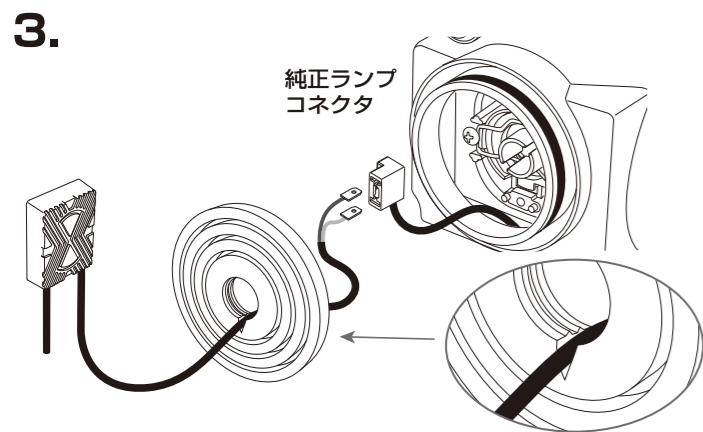
① LEDバルブの取付



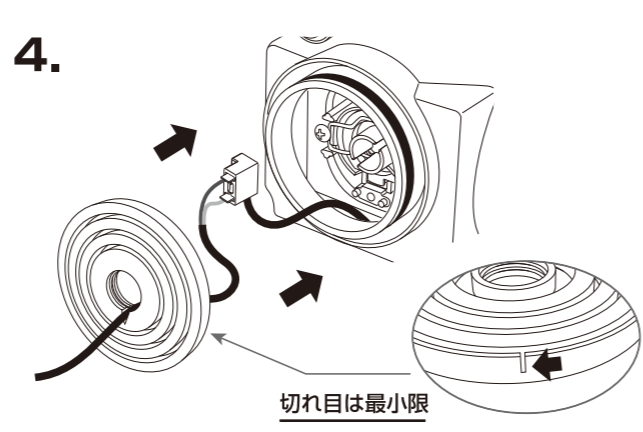
バルブ本体からフランジを取り外し、ヘッドライトへ装着します。



防水キャップを固定する側面へ、滑り止めテープを貼り付けます。



コントローラーの電源ケーブルを防水ブーツの穴から通し、ライトケース内のランプコネクタに接続します。
防水ラバーに切れ込みを入れ、電源ケーブルの逃がしを作っておきます。



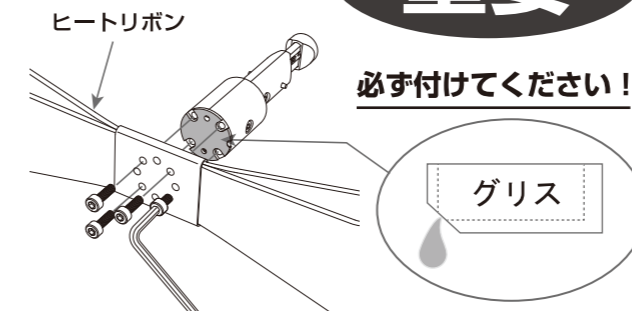
キャップの口径に合う溝に沿って、付属の防水ブーツを嵌め込みます。
表と裏どちらでも使用可能です。外側の余分な部分はカットしてください。
また、部品や凹凸に干渉する場合は、形状にフィットする形で、ハサミ等で切れ込みを入れてください。

① LEDバルブの取付 (つづき)

5.

重要

必ず付けてください!



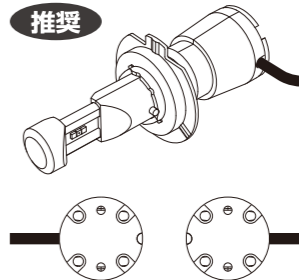
接合面に伝熱グリスをたっぷり塗り付け、ヒートリボンを付属の固定用ボルト4本で確実に締付けてください。ヒートリボンと伝熱グリスは、明るさを維持するための重要部品です。必ず使用してください。
次項6で取付する際、リボンが斜めにならないよう、右記を参考にリボンを取り付ける位置を決めてください。

発光面の向きを設定可能

車種（ライト灯具）により発光面の向きで配光特性が変わりますので、純正ハロゲンバルブに近い配光になる向きでご使用ください。

左右発光

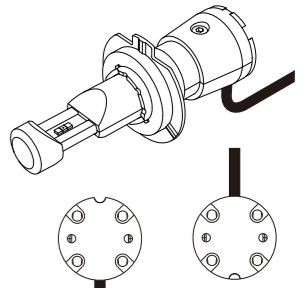
主にマルチフレクター向き



灯具へ装着状態
ケーブルが左or右出し

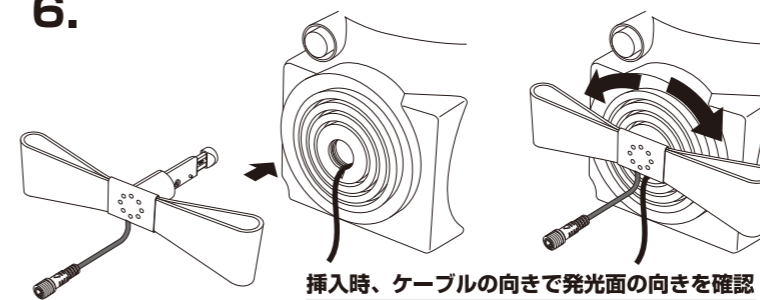
上下発光

主にプロジェクター向き



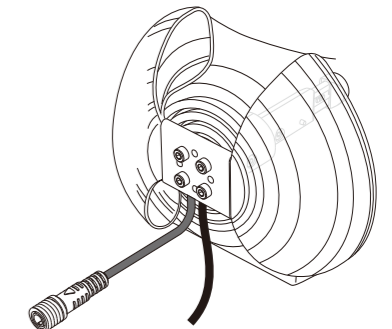
灯具へ装着状態
ケーブルが上or下出し

6.



バルブ本体を、フランジに装着します。LEDバルブ本体のピンをフランジの溝に合わせながらゆっくり奥まで差し込み、右または左に回転すると固定されます。(3段階の角度で調整できます。)

7.



ヒートリボンを広げ、形を整えます。
最後に、LEDコネクタを接続します。
※配線の噛み込み等にご注意ください。

② LEDコントローラーの取付と点灯テスト

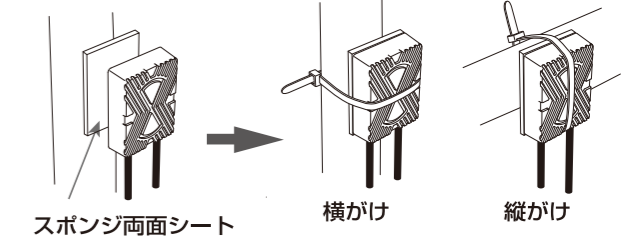
1. LEDコントローラーの設置位置を決める。

- ネイキッドバイク
ライトステーの内側やメーター下など
- アッパーカウル、フルカウルのバイク
アッパーカウル内の空きスペースなど

2. 点灯テストを実施する

Loビーム、Hiビームがそれぞれ正しく点灯しているか壁面に照射するなど確認してください。

3. コントローラーをタイラップ等で固定し全ての装着部品を取り付けます。



③ 配光調整

車体側灯具で配光調整を行ってください。

Loビーム

壁面等に照射させ、ヘッドライト中心高の水平よりも下向きになるようにします。

Hiビーム

壁面等に照射させ、ヘッドライト中心高に集光点（一番明るい点）を合わせます。

